

平成19年度事業報告書

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

特定非営利活動法人モーストの会

1 事業の成果

平成19年度は6月にNPO法人モーストの会よりイラン毒ガス被害者との交流の為に第4回イランツアー（6月24日～7月1日）を企画し、総勢7名がイランを訪問しました。今回はテレビマイユニオンという番組制作会社から2名が加わりイランの毒ガス被害関係者の様子などを撮影しました。イラン化学兵器廃絶記念日の6月29日にはテヘラン中心部の公園で行われた毒ガス犠牲者慰霊碑除幕式と平和記念館の開所式に参加し、当会津谷理事長がスピーチを致しました。毒ガス被害調査のためケルマンシャー州の村数ヶ所を回りました。特にコム市ではイスラム教の僧侶たちから盛大なる歓迎を受けました。

さらに、イランから毒ガス被害者の方が8月6日の第62回平和記念式典の参加の為に広島を訪れました。このイラン毒ガス被害者第5回広島訪問団は8月3日に来広し、7日に広島から東京に向かいました。一行はイラン人医師1名、通訳2名、毒ガス被害者とその家族7名の10名で、その間、8月6日の原爆式典への参加や戦前日本で毒ガス工場があった大久野島の訪問や広島大学の大学病院への訪問、広島原爆被爆者との交流などを持ちました。回を重ねる毎に広島を訪れた毒ガス被害者やその家族が明るくなっているレポートをイランより提出され、この事業の重要性を再確認させられました。

また、昨年も年末に行ったジュノー音楽祭ではNPO法人モーストの会が主催者となって12月1日に行ないました。さらに10月よりアニメーション『ジュノー』予告編の画像を元に絵本版『ジュノー』が製作され、この音楽祭でその出版の発表が行われました。音楽祭は700名の会場が満員となり、ジュノー博士の功績と音楽に感動しました。絵本版『ジュノー』は12月下旬より全国の書店に並びました。

12月にはスイス大使館や日本赤十字社を訪問し、スイス大使館からアニメーション『ジュノー』に対しての後援を頂きました。3月にはアニメーション『ジュノー』制作の為にスイスジュネーブにある赤十字国際委員会本部を訪問し、ジュノー博士に関する詳しい多くの資料を頂くと共に今後の制作上映に関する協力の確約を頂きました。また、ジュノー博士のご息ブノア・ジュノー氏のご自宅にも伺い、多くの博士のエピソードをお聞きしました。スイスで得られたジュノー博士に関する資料を基に1月より企画書も完成し本編のシナリオ制作に掛かりました。

平成20年1月に入り以前よりイラン側から要望のあった医師の交流が始まりました。イランからは4人の医師と看護師が広島を訪れ、約三週間、広島大学医学部の病理学研究室や分子内科学研究室、放射線影響研究所、広島県看護協会、忠海病院、県立広島病院、吉島病院、津谷内科呼吸器科などでヒロシマが培ってきた被爆者や毒ガス被害者の治療システムを学ぶ機会を持つことになりました。